

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

「日本語学習者はどのようにリソースを用いているのか？」：電子化素材と電子媒体

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 柳澤, 好昭 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002955">https://doi.org/10.15084/00002955</a>

# 「日本語学習者はどのようにリソースを用いているのか？」

## －電子化素材と電子媒体－

柳澤好昭（日本語教育部門第二領域）

国立国語研究所が実施している e-Japan 事業「IT を活用した日本語学習環境の整備と人材育成」による電子化素材の開発と提供、ツールの教育利用推進活動を基盤に、学習を支援・促進するリソースの一つであるコンピュータが日本語の学習や教育に及ぼす影響について、その一端を明らかにし、今後の日本語教育の展開について述べる。

### 1. コンピュータ利用日本語教育

日本語教育機関では、教師集団による CD 教材や Web 教材の開発、コンピュータ教室の設置もしくは学習者の PC 所有の奨励といった物理的環境の整備、コンピュータ教室の開放時間の設定による個別利用あるいは授業での利用といった利用環境の設定、必要なコンピュータ用語や検索手法の指導、電子化教材による日本語学習、インターネット利用による情報収集や課題提出や議論、プロジェクト・ワークによる日本語ホームページ作成といったコンピュータ利用が行われている。教師は、プロジェクト投影での説明、CAI テストによる教育情報の蓄積、コンピュータによる教材作成、授業情報の提供などを行っている。

日本語教育機関におけるコンピュータ利用は黎明期にあり、ベルギー・ルーヴェン大学（1999 年）、テキサス工科大学（2001 年）、シンガポール国立教育研究所（2002 年）などの調査に見られるように、コンピュータ利用教育の効果性に関する調査が行われはじめた。しかし、マルチメディアを日本語教育の現場でいかに活用できるか、学習にコンピュータをいかに効果的に利用するかという課題に対して、技術革新の影響もあり、解答を得るにはまだ時間を要する現在である。

### 2. WWW (World Wide Web)

日本語学習者がどのようなリソースを利用するかについては、この前で述べられた。ここで扱うリソース (resource, 人, 物, 情報, 財源等) は、電子媒体という視点から見る。なぜなら、インターネットの WWW (World Wide Web) から、非常に多くの情報・資料が入手可能であり、学習向けの (あるいは学習する価値のある) ものも数多くあり、これらを個々に見るより、情報・資料を運ぶ媒体から見る方が適当と考えるからである。時間的・空間的な制約なしに、学習者が学習活動に活用できる情報・資料を簡単に入手できる WWW という電子媒体は、今後の情報ネットワーク社会における学習・教育のあり方に新しい方向性を与えるものであると考えるからである。

### 3. リテラシー

インターネット社会における学習は、学習者の主体性が非常に重要となる。多種多様な情報・資料に囲まれた環境のもとにいる学習者は、これらをうまく利用することで、「自分で調べる」と

ということが従来とは違った意味をもってくる。なぜなら、自身が学習目標を設定し、WWW から必要な素材を選択し、学ぶ順序を決めながら、素材に対する理解を自らが作り上げることが必要となるからである。主体的に学習を進める能力については、伝統的な学習・教育理念でも重要と言われたが、今後の情報ネットワーク社会では、さらにその重要性・必要性は増大し、必要不可欠な能力ということになる。

これまでは、「自分で調べる」とはいつでも、教師が準備した資料を中心に、自分たちで探した資料を合わせたものが前提であった。情報・資料が少ないときは、学習者が興味に応じて調べることが、自分の知識を増やしたり考えを深めたりすることに必ずしも結び付かなかった。しかし、あるトピックについて、いろいろなレベルや立場の情報が手に入る現在、手に入れた情報・資料の必要性を吟味し、その真偽を確かめ、他の情報との整合性を考えることを通じて、自分なりのトピックについての考えやイメージを創りあげることが可能になった。

(参考) 2002, 2003 年度に国立国語研究所が実施した「IT を活用した日本語指導能力向上研修」の参加者(72 名)に対する聞き取り調査で、コンピュータ利用が役に立つと思ったものは、語彙、文化的知識、異文化交流、読む力、書く力(日本語入力)、文法力、聞く力の順で、発音と話す力に関しては否定的であった。また、電子媒体による学習でのリソースの活用には、①学習目的を明確にする、②膨大な数量のリソースから学習目的にあったリソースを選択する、③電子媒体が提供するリソースを学習教材に変える、という三つのポイントが指摘された。

## 4. インターネット

### ○コミュニケーション手段

インターネットは情報の宝庫としてだけでなく、コミュニケーションの手段としても重要である。インターネットは機関や地域や国の壁を開き、地域の人々や専門家、遠くで学ぶ者同士をつなぐという特徴がある。例：電子メールやメーリングリスト、ビデオ・チャットなど。

### ○表現手段

Web ページの作成は、学習者にとって新しい表現の手段である。Web ページでは、画像、文章、音声、動画を統合的に扱える。

### ○統合的な学習環境

インターネットと TV 放送の連動による新しい学習環境が提供されている。TV 番組の放送と映像データベースが関連付けされ、番組を視聴後、インターネットのブラウザを通して追加の映像情報や定点観測カメラ映像が入手でき、学習者同士が、情報交換する掲示板も用意されている。

## 5. 日本語教育での利用と形態

- 資料の電子化
- 教育情報の収集・蓄積・共有
- 学習活動・教授活動
- 交流・日本語使用環境
- インターネット学校、遠隔学習
- 上記の融合
- CAI (drill 型, rollplay 型, simulation 型)
- CMI (成績・出席管理)
- CALL (学習プログラム)
- Web (ネットサーフィン, 掲示板)
- e-mail (交流, 作文添削, メーリングリスト)
- On-line (テスト, 音声診断, 遠隔教育, 遠隔学習)

## 6. 旧教授メディア

○マレーシア技術大学の日本語学習者へのインタビュー（2003年5月）

- ・映像教材：興味が沸いた，実践的な会話練習ができた，実践的な会話練習によい
- ・音声テープ教材：聴解練習が効果的，自分の実力を試すことができた，集中力が高くなる
- ・CD教材：授業で用いたCD教材を買って自分で練習と復習したい，CD教材は好きではない
- ・カラオケ：ひらがなの歌は文字の学習に効果的
- ・絵教材・フラッシュカード：単語を覚えるために役に立つ，文字の勉強が楽になった。

☆備考：教授メディア次第，複数の教授メディアの使用は集中する

○マレーシア技術大学の日本語教師へのインタビュー（2003年5月）

・視聴覚教授メディア使用後に行った視聴覚教授メディア不使用の授業では，学習者に態度変容があった。

- ・視聴覚教授メディアは，学習意欲が高い学習者に与える影響は少ないようだ。
- ・視聴覚教授メディアは，学習意欲が低い学習者に大きい影響を与えたようだ。
- ・視聴覚教授メディアの好みは，二つグループに分かれた。
- ・視聴覚教授メディアの選択と会話練習は関係がある。
- ・視聴覚教授メディアによる実践的な聴解練習は，学習者に達成感，満足感を与えた。
- ・会話練習だけの授業では，会話能力の向上を目指す学習者の授業への参加欲求が高くなった。
- ・複数の視聴覚教授メディアの使用は，学習者が授業を好意的に評価した。
- ・疑似体験ができる教授メディアを用いた教室活動では，実践的な会話練習ができた。

## 7. リソースの選択

○教室活動：教師中心→必要なリソース，学習者中心→必要なリソース

○生活活動：自分中心→好きなリソース

## 8. 新教授メディアの導入

○問題解決型

学校や教師の要求を出発点とし，問題の診断，革新の探索と検索，解決案の作成，解決案の適用，要求の充足あるいは新たな問題の感知という連続した活動。→教師集団

○研究－開発－普及型

長期にわたる大規模な計画に基づき，基礎研究の知見が開発研究を通じて実践の場に有用な革新として変換され，その有効性が検討された後にテンプレート化され普及する過程。→組織

○社会的相互作用型

公式的，非公式的な結び付きからなるコミュニケーション・ネットワーク内で豊富な実証的資料に基づいて伝播し普及する過程。→個人

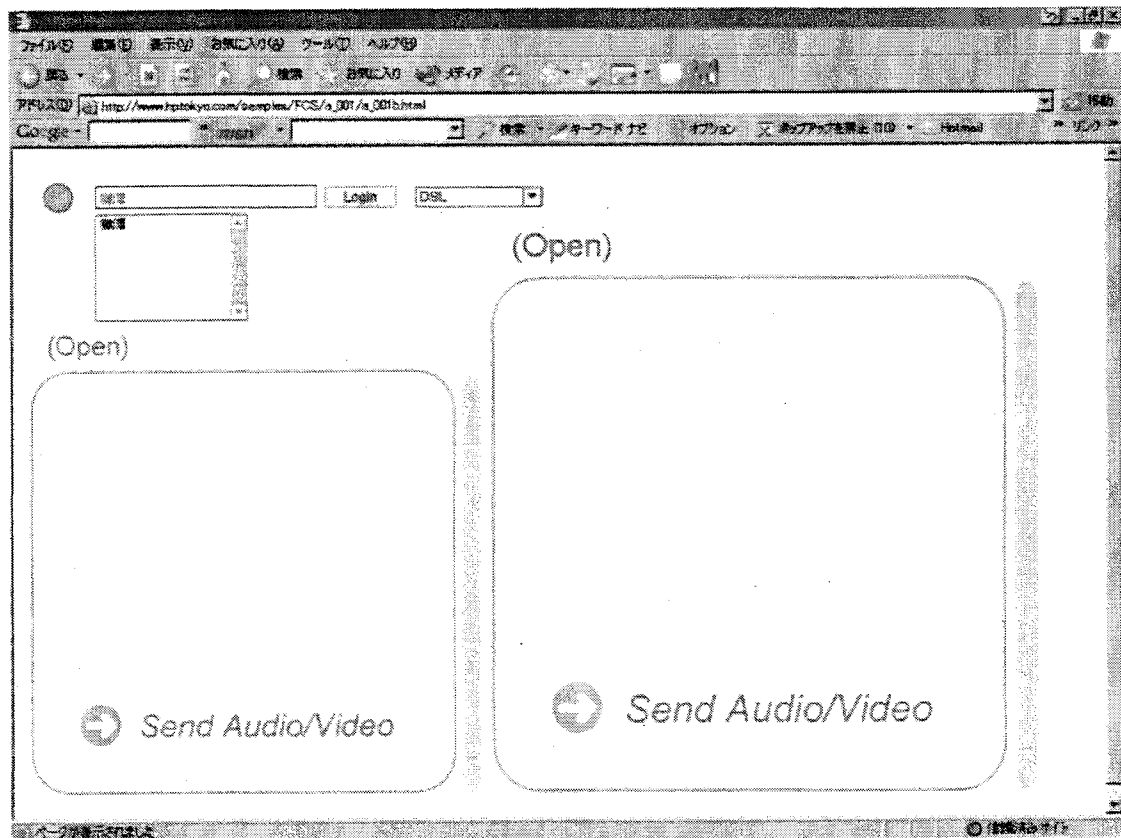
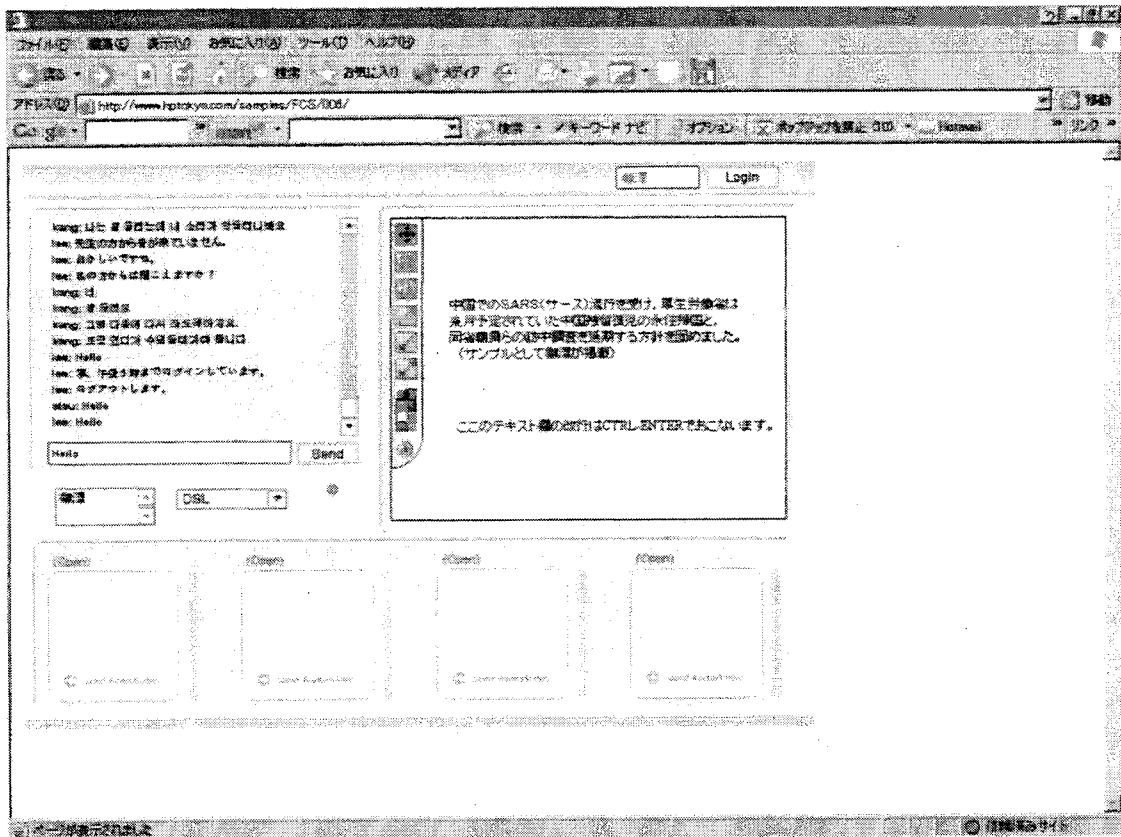
## 参考 1

新教授メディアである電子媒体で提供される情報や環境の教育・学習での活用について考える。

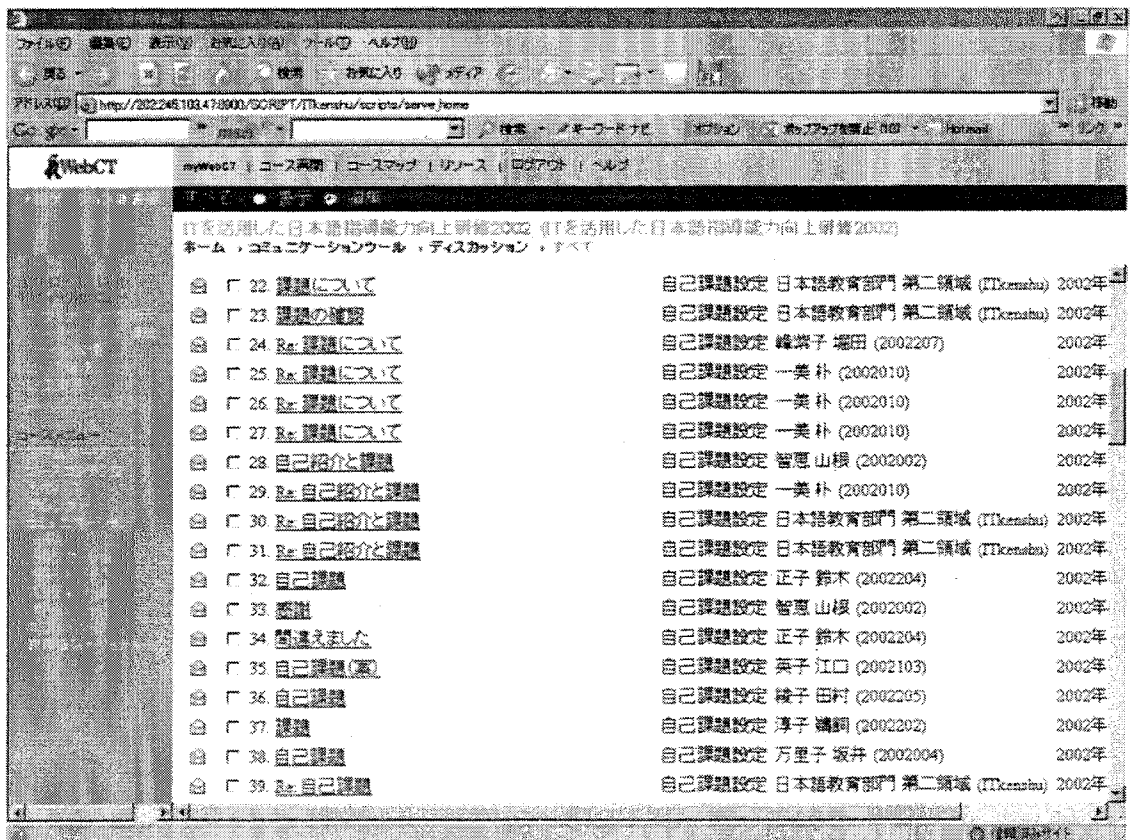
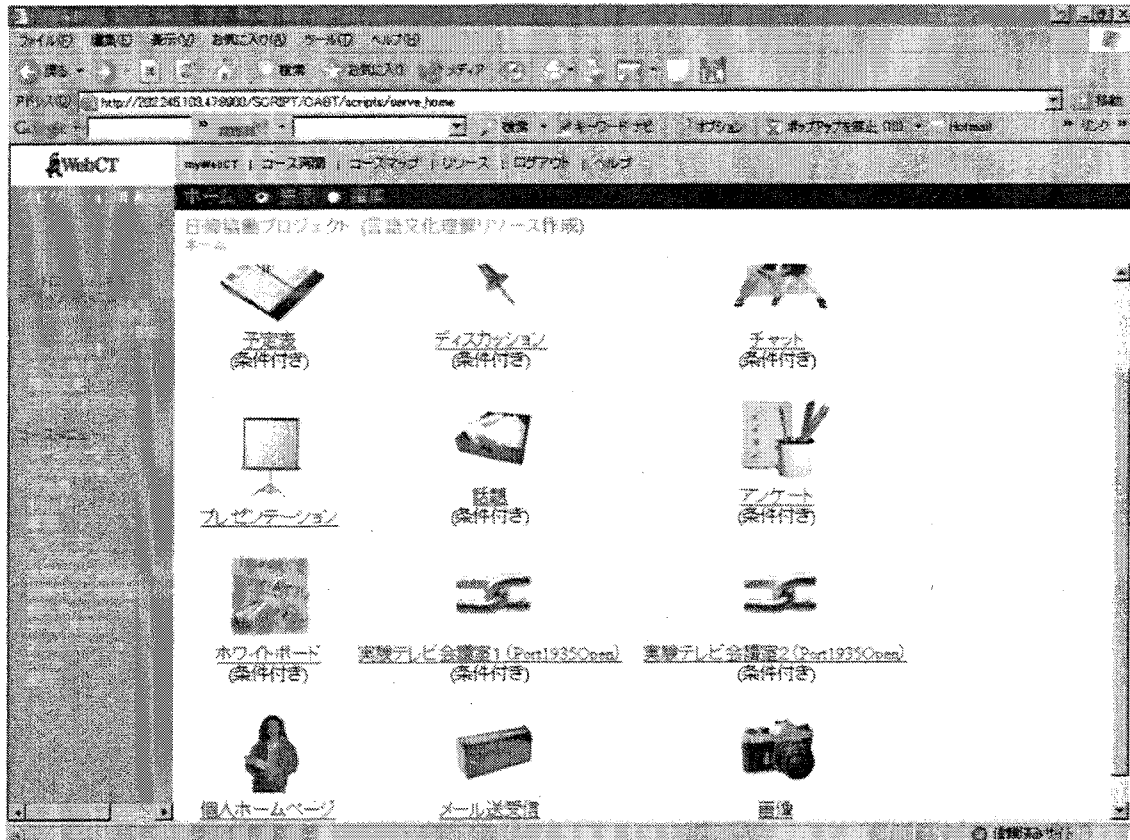
### 1 WWW (World Wide Web)

日本語教育ネットワーク : <http://www.kokken.go.jp/nihongo>  
情報処理推進機構 IPA 教育用画像素材集 : <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>  
国際交流ポータルサイト : <http://www.kokusaikoryu.jp/>  
全国方言 Web ほべりぐ : <http://hougen.atok.com/>  
教育情報ナショナルセンター : <http://www.nicer.go.jp/>  
キッズキャンパス・アカデミー : <http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/nise2/index.htm>  
Yahoo!動画ニュース : <http://headlines.yahoo.co.jp/videonews/>  
青空文庫 : <http://www.sumomo.sakura.ne.jp/~aozora/jisx0213/>  
電子図書館 : <http://www.wao.or.jp/naniuji/04bekkan.htm>  
電子化された日本語テキスト : <http://jcmac5.jc.meisei-u.ac.jp/etext-i.htm>  
MANGARAMA : <http://www.ak.cradle.titech.ac.jp/Rise/top.htm>  
日本語学習者による日本語作文と、その母語訳との対訳データベース オンライン版 :  
<http://202.245.103.50/taiyakuDB/>  
“IT 授業” 実践ナビ : <http://www.nicer.go.jp/itnavi/>  
Kids' Media Club : <http://www.kidsmc.com/#>  
3asian.com : <http://www.3asian.com/zboard/content.php>  
文化の扉を拓いてみよう : <http://www.bunka21.com/>  
写真で語る東京の社会学 :  
[http://www.chs.nihon-u.ac.jp/soc\\_dpt/ngotoh/tokyo/photo/2001/01.html](http://www.chs.nihon-u.ac.jp/soc_dpt/ngotoh/tokyo/photo/2001/01.html)  
日韓文化比較 : <http://www.tcp-ip.or.jp/~syaraku/kankoku/hikaku.htm>  
日本語 Web : <http://www.nihongoweb.com/>  
CM Japan : <http://www.cmjapan.com/>  
童謡・唱歌の世界 : <http://www5b.biglobe.ne.jp/~pst/douyou-syouka/>  
韓国日本語文学関連研究文献検索 System : <http://www.nonmun.or.kr/>  
韓日並列 Corpus 検索 : <http://www.trankj.pe.kr/>

## 2 ビデオチャット



### 3 遠隔教育ツール



4 マルチメディア・ツール



MIDI-MAN

作詞：不詳  
作曲：不詳

10  
たのしく り の り みる た と わ な し

14  
た の し く り も び ま し ゃ お め き な く り の き の し た て

18

Key + Tempo + Interlude SCORE  
Me Level





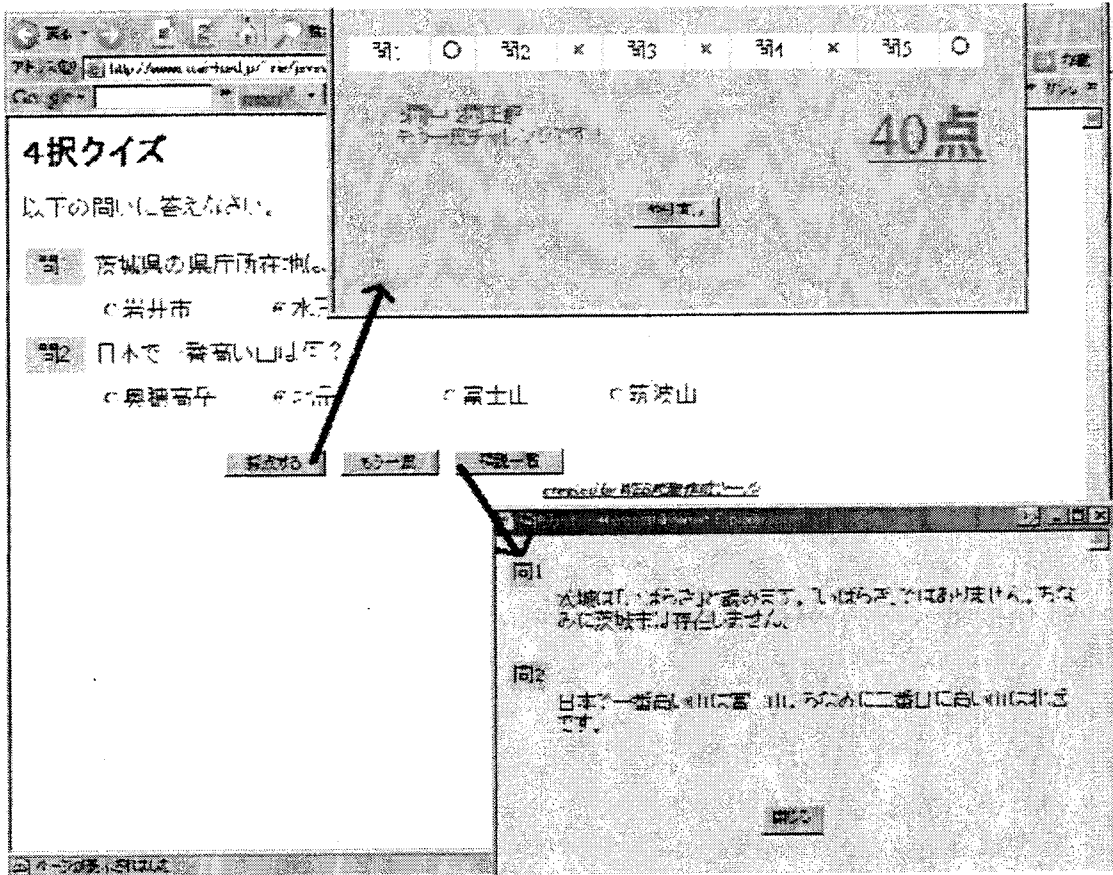
韓国人学習者のための創文100

1. 清濁の問題

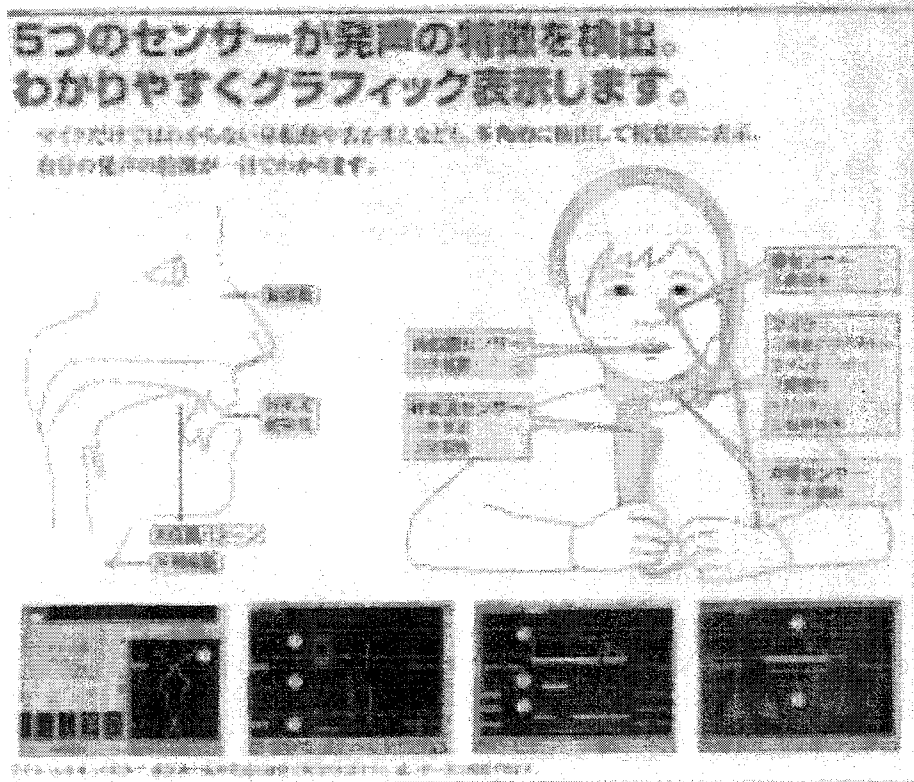
1.1 語頭の濁音(有声子音の無声子音化)

- 1) がんばってください。 (男の人) (女の人)
- 2) ぎんこう(銀行)はあそこです。 (男の人) (女の人)
- 3) こうぜん(偶然)ともだちに会いました。 (男の人) (女の人)
- 4) げんざい(現在)はかいしゃいん(会社員)です。 (男の人) (女の人)
- 5) ごご(午後)来てください。 (男の人) (女の人)
- 6) ぎゃく(逆)にしてみました。 (男の人) (女の人)
- 7) ぎゅうにく(牛肉)は食べません。 (男の人) (女の人)
- 8) ぎょうざ(餃子)が食べたいです。 (男の人) (女の人)
- 9) じゃま(邪魔)しないでください。 (男の人) (女の人)
- 10) じかん(時間)がありません。 (男の人) (女の人)
- 11) じゅうじ(10時)ごろまでください。 (男の人) (女の人)

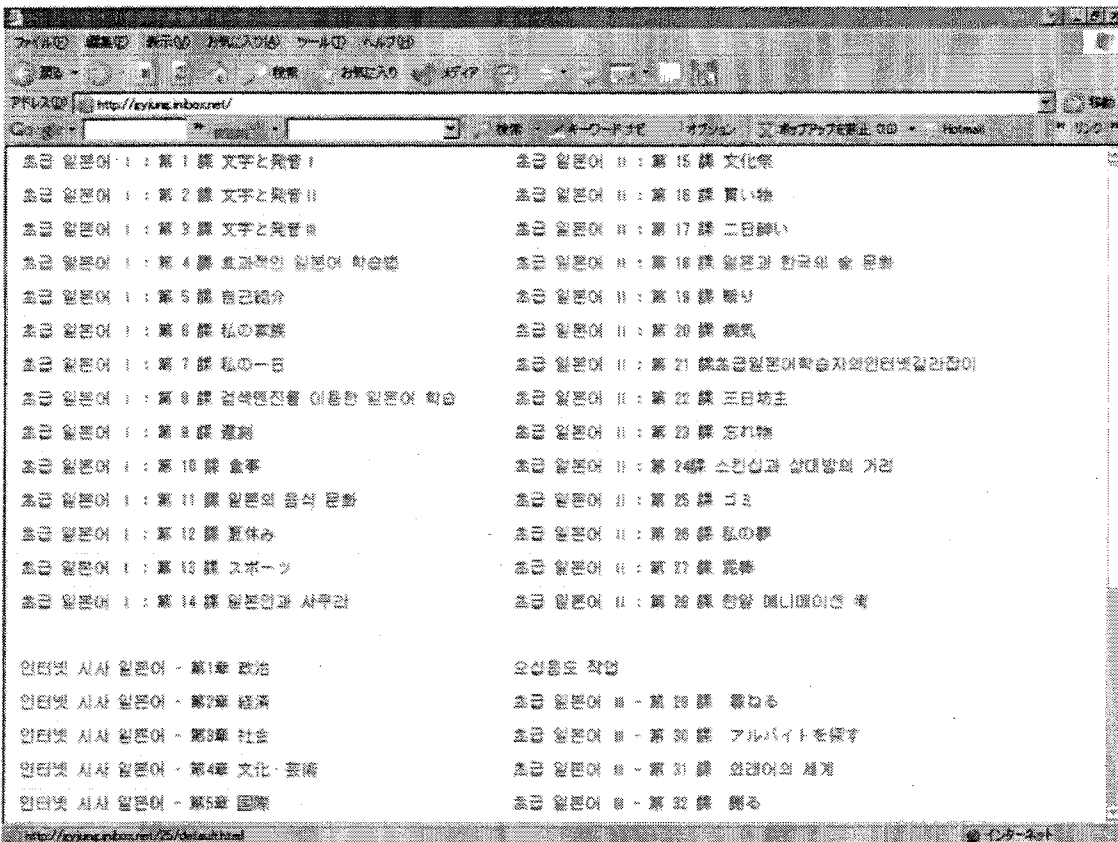
5 テスト作成ツール



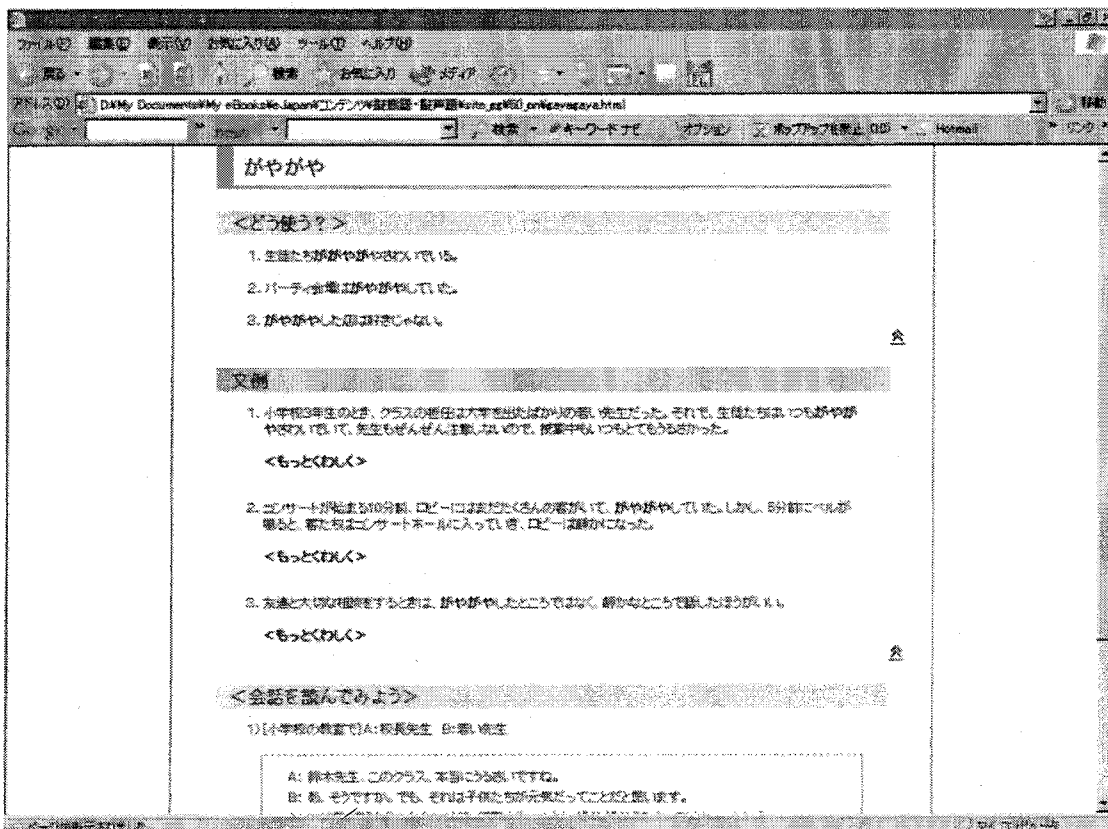
6 音声訓練



7 On-line



8 データベース



ファイル 編集 表示 拡張子入力 印刷 ヘルプ

戻る 進む 検索 拡張子入力 マイク

アドレス http://202.245.183.51/worktext/top.asp

Google

検索 キーワードなど


検索履歴 0/0

ヘルプ リンク

---

# 学校の教科書

## 日本と世界



日本語を母語としない子どもたちが、日本の小中学校でおどろきを感じている。受取平均年齢が、どのような年齢になっているか、ご存知ですか。また、自分の国にいたるとどのような年齢をしていると驚かれますか。

「学校の教科書 日本と世界」では、いろいろな国の子供、小中学校の教科書情報をお知らせします。世界の小中学校-中学校では、授業の時に、どのような科目、授業を作っているのか、日本の教科書と比べてお話し、新たな発見があるかもしれません。

★教科書の目的ページへ

1年間の学習内容がわかります。

★教科書の目次ページへ

[準備中]

小学校3年、5年、中学校2年までに、  
どんなことを学んでいるのでしょうか。


★教科書の感想ページへ

[準備中]

どんな意見があるのか、  
ちょっとのぞいてみましょう。

意見書情報提供のお問い合わせ

日本語を母語としない児童・生徒の多くの国の教科書（教科書）を調査したいと思っています。教科書についての入手情報をお持ちの方は、是非教えてください。また、「こんなサイトにしてほしい」「この国の教科書がほしい」といったご意見もこちら [worktext@niss.ac.jp](mailto:worktext@niss.ac.jp) まで、よろしくお願いたします。



---

国立国語研究所 Copyright © 2003 The National Institute for Japanese Language All Right Reserved.

インターネット

## 参考 2

### 現状

独立行政法人メディア教育開発センターが 2003 年 1 月に全国の高等教育機関（大学本部，大学学部・研究科，短大、高専計 1,908 機関）に対して実施した「高等教育機関におけるマルチメディア利用実態調査」（<http://www.nime.ac.jp/~mana/project/Multimedia-Utilization/2002report.pdf>）の結果によると，電子機器の教育利用の内容は，以下のとおりである。

（単位％）

	国立大	公立大	私立大	短期大	高専
電子メールや電子掲示板による事務連絡	92.5	97.6	92.0	90.6	71.5
録画ビデオの授業への利用	86.1	85.3	79.0	86.9	91.2
プレゼンテーション	84.5	91.9	79.0	82.2	73.1
OHP の利用	82.1	92.6	88.7	77.4	75.5
図書資料のデータベース化	80.6	80.1	82.2	80.7	66.7
WWW へアクセスして資料を収集させる授業	77.9	72.9	71.0	80.3	74.0
インターネット上の情報を教材として配布	76.9	79.6	64.5	76.9	70.4
音声テープ教材の利用	76.6	60.2	77.4	82.4	82.7
電子メールや電子掲示板による学生からのレポート提出	66.5	74.3	55.7	64.2	46.1
電子メールや電子掲示板による授業への質問受け付け	62.8	72.0	47.6	60.6	36.2
授業内容の WWW 上への掲載(シラバス,レジュメ,予告等)	57.3	70.7	42.6	53.3	27.1
CD 教材の授業への利用	55.4	49.4	48.4	58.5	52.3
メディア教材の自作	46.0	51.4	36.7	44.9	34.0
学生間の討議のための電子掲示板やメーリングリストの提供	32.4	34.8	29.6	31.6	13.8
通信衛星などによる授業	9.8	26.5	4.8	4.3	1.4
授業の WWW 上への掲載	6.6	6.9	3.2	6.7	1.4

（ゴシックは，トップ 5 を示す。）

このほか，財団法人ニューメディア開発協会が 2001 年度に「電子ネットワーク実態調査」（<http://www.nmda.or.jp/nmda/netchousa/net0203.html>）を実施している。

連絡先 : yoshi3@kokken.go.jp